

# 令和6年度博士前期課程入学者選抜【一般選抜】の選抜方法について

令和6年度新潟大学大学院自然科学研究科博士前期（修士）課程の【一般選抜】については、以下の選抜方法により実施します。

（注1）令和6年4月入学者を対象とする選抜です。

（注2）第1次募集においては、令和5年10月入学者を対象とする選抜も含まれます。

## ◆令和6年度（第1次募集）（令和5年10月入学含む）選抜方法【一般選抜】

選抜は、学力検査（英語、専門科目、事前課題）、面接、口頭試問及び出願書類を総合して行います。

◀試験科目▶

**「英語」は、全専攻・コースにおいて必須です。**

出願時又は募集要項において別に定める期限までに提出する「TOEIC又はTOEFLのスコア」により評価します。

専攻	コース（系）	コース記号	試験科目	試験内容等
数理物質科学	物理学	A1	専門科目 [物理学]	力学・解析力学、電磁気学、量子物理学、熱・統計物理学を全問解答してください。
			口頭試問	学部での研究内容、大学院への進学理由、入学後の研究計画及び修了後の進路希望などについて質問します。 また、物理学の基礎的内容に関する知識を問う場合があります。
	化学	A2	専門科目 [化学]	無機化学、分析化学、有機化学、生化学、量子化学、化学統計熱力学からそれぞれ1問ずつ、計6問出題します。この中から計4問を選択し解答してください。
			面接	学部での研究内容、大学院への進学理由、入学後の研究計画及び修了後の進路希望などについて質問します。
	数理科学	A3	専門科目 [数学]	線形代数及び微積分から計3問出題します。全問解答してください。
			面接	学部での研究内容、大学院への進学理由、入学後の研究計画及び修了後の進路希望などについて質問します。

（参考：旧選抜方法）

令和5年度（第1次募集）（令和4年10月入学含む）[一般選抜]

（試験科目）

「英語」は、全専攻・コース必須です。

出願時又は別に定める期限までに提出する「TOEIC又はTOEFLのスコア」により評価します。

試験科目	試験内容等	（令和6年度変更点の概要）
専門科目 [物理学]	力学・解析力学、電磁気学、量子物理学、熱・統計物理学を全問解答します。	
面接	物理学の基礎的内容に関する質問をすることがあります。	
専門科目 [化学]	無機化学、分析化学、有機化学、生化学、量子化学、化学統計熱力学からそれぞれ1問ずつ、計6問出題します。この中から計4問を選択し、解答します。	
面接	大学院進学の原因や進学後の抱負などについて質問します。	
専門科目 [数学]	線形代数、微積分、解析、代数、幾何、応用数学から出題します。3問を選択し、解答します。	
面接		専門科目の出題範囲の変更

## ◆令和6年度(第1次募集)(令和5年10月入学含む)選抜方法【一般選抜】

選抜は、学力検査(英語, 専門科目, 事前課題), 面接, 口頭試問及び出願書類を総合して行います。

◀試験科目▶

**「英語」は、全専攻・コースにおいて必須です。**

出願時又は募集要項において別に定める期限までに提出する「TOEIC又はTOEFLのスコア」により評価します。

専攻	コース(系)	コース記号	試験科目	試験内容等
材料生産システム	機能材料科学(物性系)	B1	研究計画書(事前課題)	卒業研究等の概要及び博士前期(修士)課程での研究計画について、所定の様式に記載し、別に定める期限内に提出してください。
			口頭試問	提出された研究計画書(事前課題)に基づき、質問します。また、出願した専攻・コースの分野に関する専門知識などについて確認します。
	機能材料科学(開発系)	B2	研究計画書(事前課題)	卒業研究等の概要と予想される結果、博士前期(修士)課程における研究計画、自身の将来展望について、所定の様式に記載し、別に定める期限内に提出してください。
			口頭試問	提出された研究計画書(事前課題)に基づき、質問します。また、大学院への進学理由及び修了後の進路希望について確認します。なお、材料科学に関する知識を問う場合があります。
	素材生産科学(応用化学系)	B3	研究計画書(事前課題)	卒業研究等の概要、博士前期(修士)課程での研究計画及び自身の将来展望について、所定の様式に記載し、別に定める期限内に提出してください。
			口頭試問	提出された研究計画書(事前課題)に基づき、質問します。また、[無機化学]、[分析化学]、[物理化学]、[有機化学]、[高分子化学]の5科目の中から、博士前期(修士)課程での研究に関する分野の基礎知識について確認します。
	素材生産科学(化学工学系)	B4	口頭試問	大学院への進学理由、修了後の進路希望及び化学工学(反応工学、単位操作、移動現象)に関する専門知識などについて確認します。(約30分間)
	機械科学	B5	研究計画書(事前課題)	卒業研究等の概要、博士前期(修士)課程での研究計画及び自身の将来展望について、所定の様式に記載し、別に定める期限内に提出してください。
			口頭試問	提出された研究計画書(事前課題)に基づき、質問します。また、機械工学に関する知識を問う場合があります。
	社会システム工学	B6	研究計画書(事前課題)	卒業研究等を経た上で認識した科学的・社会的課題及びその課題を解決するために大学院で取り組むべき事柄について、所定の様式に記載し、別に定める期限内に提出してください。
口頭試問			提出された研究計画書(事前課題)に基づき、質問します。また、大学院への進学理由、修了後の進路希望などについて確認します。	

(参考:旧選抜方法)

令和5年度(第1次募集)(令和4年10月入学含む)[一般選抜]

(試験科目)

「英語」は、全専攻・コース必須です。

出願時又は別に定める期限までに提出する「TOEIC又はTOEFLのスコア」により評価します。

試験科目	試験内容等	(令和6年度変更点の概要)
専門科目 [材料科学(物性系)]	量子物理学, 熱・統計物理学, 半導体工学, 固体物性の4問から3問を選択し、解答します。	専門科目及び面接を、研究計画書(事前課題)及び口頭試問に変更
面接		
小論文 【事前提出課題】	卒業研究等の概要と予想される結果、大学院における研究計画、自身の将来展望について記述します。	
面接	提出された小論文に基づき、卒業研究等の概要及び博士前期(修士)課程での研究内容に関して質問します。また、材料科学に関する知識を問う場合があります。	
専門科目 [応用化学]	次の5科目の中から、出願時に届け出た3科目を解答します。[無機化学]、[分析化学]、[物理化学]、[有機化学]、[高分子化学]	専門科目及び面接を、研究計画書(事前課題)及び口頭試問に変更
面接		
専門科目 [化学工学]	反応工学, 単位操作, 移動現象の3問全てを解答します。	専門科目及び面接を、口頭試問に変更
面接	口頭で化学工学の知識、化学工学に関連する分野の英語の知識を問います。	
小論文 【事前提出課題】	卒業研究等の概要と予想される結果、博士前期(修士)課程での研究計画、自身の将来展望について記述します。	
面接	提出された小論文に基づき、卒業研究等の概要および博士前期(修士)課程での研究内容に関して質問します。また、機械工学に関する知識を問う場合があります。	
小論文 【事前提出課題】	卒業研究等の概要と大学院における研究計画、自身の将来展望について記述します。	
面接	提出された小論文に関する試問を行います。	

## ◆令和6年度(第1次募集)(令和5年10月入学含む)選抜方法【一般選抜】

選抜は、学力検査(英語, 専門科目, 事前課題), 面接, 口頭試問及び出願書類を総合して行います。

◀試験科目▶

**「英語」は、全専攻・コースにおいて必須です。**

出願時又は募集要項において別に定める期限までに提出する「TOEIC又はTOEFLのスコア」により評価します。

専攻	コース(系)	コース記号	試験科目	試験内容等
電気情報工学	情報工学	C1	研究計画書(事前課題)	大学院において取り組みたい研究の社会的・学術的背景, 目的, 方法(計画), 見込まれる成果とその意義について, 所定の様式に記載し, 別に定める期限内に提出してください。
			口頭試問	提出された研究計画書(事前課題)に基づき, 質問します。また, 情報工学コースに関する専門知識について確認します。
	電気電子工学	C2	研究計画書(事前課題)	卒業研究等の概要及び大学院において取り組みたい研究の社会的・学術的背景, 目的, 方法(計画), 見込まれる成果とその意義について, 所定の様式に記載し, 別に定める期限内に提出してください。
			口頭試問	提出された研究計画書(事前課題)に基づき, 質問します。また, 大学院への進学理由, 修了後の進路希望及び出願した専攻・コースの分野に関する専門知識などについて確認します。
	人間支援科学	C3	研究計画書(事前課題)	卒業研究等の概要及び大学院において取り組みたい研究の社会的・学術的背景, 目的, 方法(計画), 見込まれる成果とその意義について, 所定の様式に記載し, 別に定める期限内に提出してください。
			口頭試問	提出された研究計画書(事前課題)に基づき, 質問します。

(参考: 旧選抜方法)

令和5年度(第1次募集)(令和4年10月入学含む)[一般選抜]

(試験科目)

「英語」は、全専攻・コース必須です。

出願時又は別に定める期限までに提出する「TOEIC又はTOEFLのスコア」により評価します。

試験科目	試験内容等	(令和6年度変更点の概要)
専門科目 [情報工学]	形式言語とオートマトン, プログラミング, 情報理論, 線形代数の4問出題, 全問を解答します。	専門科目及び面接を, 研究計画書(事前課題)及び口頭試問に変更
面接		
小論文 【事前提出課題】	卒業研究の概要と博士前期(修士)課程での研究計画について記述します。	
口頭試問	提出された小論文に関する試問を行います。	
小論文 【事前提出課題】	卒業研究等及び大学院において取り組みたい研究の社会的・学術的背景, 目的, 方法(計画), 見込まれる成果とその意義について記述します。	
面接		

## ◆令和6年度(第1次募集)(令和5年10月入学含む)選抜方法【一般選抜】

選抜は、学力検査(英語, 専門科目, 事前課題), 面接, 口頭試問及び出願書類を総合して行います。

≪試験科目≫

**「英語」は、全専攻・コースにおいて必須です。**

出願時又は募集要項において別に定める期限までに提出する「TOEIC又はTOEFLのスコア」により評価します。

専攻	コース(系)	コース記号	試験科目	試験内容等
生命・食料科学	基礎生命科学	D1	専門科目 [生物学]	2問出題します。全問解答してください。
			面接	学部での研究内容, 大学院への進学理由, 入学後の研究計画及び修了後の進路希望などについて質問します。
	応用生命・食品科学	D2	専門科目	次の15科目の中から, 1科目を選択し, 出願時に届け出てください。届け出た科目を解答してください。 生物化学, 微生物学, 生物有機化学, 畜産物利用学, 食品化学, 栄養制御学, 植物栄養学, 土壌学, 木質化学, 食品・農業情報工学, 花卉園芸学および植物細胞工学, 食品糖質科学, 調理科学, 醸造健康学, 食品衛生学
			面接	学部での研究内容, 大学院への進学理由, 入学後の研究計画及び修了後の進路希望などについて質問します。
	生物資源科学	D3	専門科目	志願する教育研究分野の次の科目の中から, 1科目を選択し, 出願時に届け出てください。届け出た科目を解答してください。 【食料・資源経済学】 農業経済学 【植物資源科学】 作物生理学, 果樹・蔬菜園芸学, 植物病理学, 植物遺伝学, 植物生産学, 作物学, 植物ウイルス学 【動物資源科学】 動物遺伝学, 草地生態学, 動物解剖生理学, 動物生殖学
			面接	学部での研究内容, 大学院への進学理由, 入学後の研究計画及び修了後の進路希望などについて質問します。
	日本酒学	D4	研究計画書 (事前課題)	卒業研究等の概要及び博士前期(修士)課程での研究計画について, 所定の様式に記載し, 別に定める期限内に提出してください。
			口頭試問	提出された研究計画書(事前課題)に基づき, 質問します。

(参考: 旧選抜方法)

令和5年度(第1次募集)(令和4年10月入学含む)[一般選抜]

(試験科目)

「英語」は、全専攻・コース必須です。

出願時又は別に定める期限までに提出する「TOEIC又はTOEFLのスコア」により評価します。

試験科目	試験内容等	(令和6年度変更点の概要)
専門科目 [生物学]	2問出題し, 全問解答します。	
面接		
専門科目	次の14科目の中から, 出願時に届け出た1科目を解答します。 生物化学, 微生物学, 生物有機化学, 畜産物利用学, 食品化学, 栄養制御学, 植物栄養学, 土壌学, 木質化学, 食品・農業情報工学, 花卉園芸学および植物細胞工学, 食品糖質科学, 調理科学, 醸造健康学	専門科目の対象科目の変更
面接		
専門科目	志願する教育研究分野の次の科目の中から, 出願時に届け出た1科目を解答します。 【食料・資源経済学】 農業経済学 【植物資源科学】 作物生理学, 果樹・蔬菜園芸学, 植物病理学, 植物育種学, 植物遺伝学, 植物生産学 【動物資源科学】 動物遺伝学, 草地生態学, 動物解剖生理学, 動物生殖学, 乳牛生産管理学	専門科目の対象科目変更
面接		
小論文 【事前提出課題】	卒業研究の概要と予想される結果, 博士前期(修士)課程で取り組みたい日本酒学に関する研究計画, 自身の将来展望について記述します。	
面接	提出された小論文に基づき, 卒業研究等の概要および博士前期(修士)課程での研究内容に関して質問します。	

## ◆令和6年度(第1次募集)(令和5年10月入学含む)選抜方法【一般選抜】

選抜は、学力検査(英語, 専門科目, 事前課題), 面接, 口頭試問及び出願書類を総合して行います。

### ≪試験科目≫

**「英語」は、全専攻・コースにおいて必須です。**

出願時又は募集要項において別に定める期限までに提出する「TOEIC又はTOEFLのスコア」により評価します。

専攻	コース(系)	コース記号	試験科目	試験内容等
環境科学	自然システム科学	E1	研究計画書(事前課題)	卒業研究等の概要及び博士前期(修士)課程での研究計画について、所定の様式に記載し、別に定める期限内に提出してください。
			口頭試問	提出された研究計画書(事前課題)に基づき、質問します。
	流域環境学	E2	口頭試問	卒業研究等の概要及び大学院での研究計画について口頭発表を行い、研究内容及び研究分野に関する質疑応答を行います。口頭発表用資料(事前提出)の詳細については、募集要項又は受験案内に記載し、指示します。
	社会基盤・建築学(社会基盤系)	E3	専門科目[社会基盤工学]	応用力学、水理学、地盤工学、コンクリート工学から4問出題します。全問解答してください。
			面接	学部での研究内容、大学院への進学理由、入学後の研究計画及び修了後の進路希望などについて質問します。
	社会基盤・建築学(建築系)	E4	専門科目[建築学]	建築材料・構造、建築環境工学、建築計画、都市計画分野の基礎的内容に関する問題を全問解答してください。
			面接	学部での研究内容、大学院への進学理由、入学後の研究計画及び修了後の進路希望などについて質問します。
地球科学	E5	口頭試問	卒業研究等の学術的背景、目的と意義、計画、成果の見込み、途中経過及び博士前期(修士)課程での研究計画について口頭発表を行い、質疑応答を行います。口頭発表用資料(事前提出)の詳細については、募集要項又は受験案内に記載し、指示します。	
災害環境科学	E6	専門科目	次の8科目の中から1科目を選択し、出願時に届け出てください。届け出た科目を解答してください。 地質学、雪氷学、気象学、水工学、地形学、雪氷防災学、応用地球科学、自然災害科学	
		口頭試問	卒業研究等の学術的背景、目的と意義、計画、成果の見込み及び博士前期(修士)課程での研究計画について口頭発表を行い、質疑に应答します。	
フィールド科学	E7	口頭試問	卒業研究等の概要及び博士前期(修士)課程での研究計画について口頭発表を行い、研究内容及び研究分野に関する質疑応答を行います。口頭発表用資料(試験当日持参)の詳細については、受験案内に記載し、指示します。	

(参考: 旧選抜方法)

令和5年度(第1次募集)(令和4年10月入学含む)[一般選抜]

(試験科目)

「英語」は、全専攻・コース必須です。

出願時又は別に定める期限までに提出する「TOEIC又はTOEFLのスコア」により評価します。

試験科目	試験内容等	(令和6年度変更点の概要)
小論文【事前提出課題】	卒業研究等の概要及び博士前期(修士)課程での研究計画を記述した小論文を評価します。	
面接	提出された小論文に基づき、卒業研究等の概要及び大学院での研究内容に関して質問します。	
口頭試問	卒業研究の概要及び大学院での研究計画についてプレゼンテーションを行い、研究内容及び研究分野に関する質疑応答を行います。	
専門科目[社会基盤工学]	応用力学、水理学、地盤工学、コンクリート工学から4問出題し、全問解答します。	
面接		
専門科目[建築学]	建築材料・構造、建築環境工学、建築計画、都市計画分野の基礎的内容に関する問題を全問解答します。三角スケールの持ち込みを認めます。	持ち込み指示の変更
面接		
口頭試問	卒業研究等の学術的背景、目的と意義、計画、成果の見込み、途中経過および博士前期(修士)課程での研究計画について口頭発表を行い、質疑に应答します。	
専門科目	地質学、応用地質学、雪氷学、気象学、水工学、砂防学、自然災害科学に関連する出題の中から2問選択し、解答します。	専門科目の科目の範囲及び科目選択方法の変更
面接	卒業研究等の学術的背景、目的と意義、計画、成果の見込みおよび博士前期(修士)課程での研究計画について口述し、質疑に应答します。	
口頭試問	卒業研究の概要と博士前期(修士)課程での研究計画についてプレゼンテーションを行い、研究内容及び研究分野に関する質疑応答を行います。	

## ◆令和6年度(第2次募集)選抜方法 【一般選抜】

選抜は、学力検査（英語、専門科目、事前課題）、面接、口頭試問及び出願書類を総合して行います。

### ◀試験科目▶

「英語」は、全専攻・コース必須です。

出願時又は別に定める期限までに提出する「TOEIC又はTOEFLのスコア」により評価します。

専攻	コース（系）	コース記号	試験科目	試験内容等
数理物質科学	物理学	A1	口頭試問	物理学一般、卒業研究及び希望する指導教員の研究に関する基礎事項などについて質問します。（詳細は、コース担当教員又は連絡先教員に照会してください。）
	化学	A2	口頭試問	卒業研究等の概要、大学院への進学理由、入学後の研究計画及び修了後の進路希望について口頭発表を行い、質疑応答を行います。口頭発表用資料（試験当日持参）の詳細については、受験案内に記載し、指示します。また、化学に関する専門知識について確認します。
	数理科学	A3	口頭試問	学部での研究内容、大学院への進学理由、入学後の研究計画、修了後の進路希望及び出願した専攻・コースの分野に関する専門知識などについて確認します。

（参考：旧選抜方法）令和5年度(第2次募集)[一般選抜]

（試験科目）

「英語」は、全専攻・コース必須です。

出願時又は別に定める期限までに提出する「TOEIC又はTOEFLのスコア」により評価します。

試験科目	試験内容等	（令和6年度変更点の概要）
口頭試問	物理学一般、卒業研究及び希望する指導（予定）教員の研究に関する基礎事項などについて質問します。（詳細は、コース担当教員又は連絡先教員に照会してください。）	
専門科目 [化学]	無機化学、分析化学、有機化学、生化学、量子化学、化学統計熱力学からそれぞれ1問ずつ、計6問出題します。この中から出願時に届け出た4問を解答します	専門科目及び面接を、口頭試問に変更
面接	大学院進学の理由や進学後の抱負などについて質問します。	
専門科目 [数学]	線形代数、微積分、解析、代数、幾何、応用数学から出題します。3問を選択し、解答します。	専門科目及び面接を、口頭試問に変更
面接		

## ◆令和6年度(第2次募集)選抜方法 【一般選抜】

選抜は、学力検査（英語、専門科目、事前課題）、面接、口頭試問及び出願書類を総合して行います。

### ◀試験科目▶

「英語」は、全専攻・コース必須です。

出願時又は別に定める期限までに提出する「TOEIC又はTOEFLのスコア」により評価します。

専攻	コース（系）	コース記号	試験科目	試験内容等
材料生産システム	機能材料科学（物性系）	B1	口頭試問	学部での研究内容、大学院への進学理由、入学後の研究計画及び修了後の進路希望について質問します。 また、物理学一般、卒業研究及び希望する研究に関する基礎事項について確認します。
	機能材料科学（開発系）	B2	研究計画書（事前課題）	卒業研究等の概要と予想される結果、博士前期（修士）課程における研究計画及び自身の将来展望について、所定の様式に記載し、出願書類とともに提出してください。
			口頭試問	提出された研究計画書（事前課題）に基づき、質問します。 また、大学院への進学理由及び修了後の進路希望について確認します。 なお、材料科学に関する知識を問う場合があります。
	素材生産科学（応用化学系）	B3	研究計画書（事前課題）	卒業研究等の概要、博士前期（修士）課程での研究計画及び自身の将来展望について、所定の様式に記載し、出願書類とともに提出してください。
			口頭試問	提出された研究計画書（事前課題）に基づき、質問します。 また、[無機化学]、[分析化学]、[物理化学]、[有機化学]、[高分子化学]の5科目の中から、博士前期（修士）課程での研究計画に必要な分野の基礎知識について確認します。
	素材生産科学（化学工学系）	B4	口頭試問	学部での研究内容、大学院への進学理由、修了後の進路希望及び化学工学（反応工学、単位操作、移動現象）に関する専門知識などについて質問します。（約50分間）
	機械科学	B5	研究計画書（事前課題）	卒業研究等の概要、博士前期（修士）課程での研究計画及び自身の将来展望について、所定の様式に記載し、出願書類とともに提出してください。
口頭試問			提出された研究計画書（事前課題）に基づき、質問します。 また、機械工学に関する知識を問う場合があります。	
社会システム工学	B6	研究計画書（事前課題）	卒業研究等を経た上で認識した科学的・社会的課題及びその課題を解決するために大学院で取り組むべき事柄について、所定の様式に記載し、出願書類とともに提出してください。	
		口頭試問	提出された研究計画書（事前課題）に基づき、質問します。 また、大学院への進学理由、修了後の進路希望などについて確認します。	

（参考：旧選抜方法）令和5年度(第2次募集)[一般選抜]

（試験科目）

「英語」は、全専攻・コース必須です。

出願時又は別に定める期限までに提出する「TOEIC又はTOEFLのスコア」により評価します。

試験科目	試験内容等	（令和6年度変更点の概要）
専門科目 [材料科学（物性系）]	量子物理学、熱・統計物理学、半導体工学、固体物性の4問から3問を選択し、解答します。	専門科目及び面接を、口頭試問に変更
面接		
小論文 【事前提出課題】	卒業研究等の概要と予想される結果、大学院における研究計画、自身の将来展望について記述します。	
面接	提出された小論文に基づき、卒業研究等の概要及び博士前期（修士）課程での研究内容に関して質問します。また、材料科学に関する知識を問う事があります。	
専門科目 [応用化学]	次の5科目の中から、出願時に届け出た3科目を解答します。[無機化学]、[分析化学]、[物理化学]、[有機化学]、[高分子化学]	専門科目及び面接を、研究計画書（事前課題）及び口頭試問に変更
面接		
口頭試問	化学工学（反応工学、単位操作、移動現象）に関して質問します。また、化学工学に関連する英語の知識を問います。（約50分間）	
小論文 【事前提出課題】	卒業研究等の概要と、博士前期（修士）課程での研究計画、自身の将来展望について記述します。	
面接	提出された小論文に基づき、卒業研究等の概要および博士前期（修士）課程での研究内容に関して質問します。また、機械工学に関する知識を問う事があります。	
小論文 【事前提出課題】	卒業研究等の概要と大学院における研究計画、自身の将来展望について記述します。	
面接	提出された小論文に関する試問を行います。	

## ◆令和6年度(第2次募集)選抜方法 【一般選抜】

選抜は、学力検査（英語、専門科目、事前課題）、面接、口頭試問及び出願書類を総合して行います。

### ◀試験科目▶

「英語」は、全専攻・コース必須です。

出願時又は別に定める期限までに提出する「TOEIC又はTOEFLのスコア」により評価します。

専攻	コース（系）	コース記号	試験科目	試験内容等
電気情報工学	情報工学	C1	研究計画書（事前課題）	大学院において取り組みたい研究の社会的・学術的背景、目的、方法（計画）、見込まれる成果とその意義について、所定の様式に記載し、出願書類とともに提出してください。
			口頭試問	提出された研究計画書（事前課題）に基づき、質問します。 また、情報工学コースに関する専門知識について確認します。
	電気電子工学	C2	研究計画書（事前課題）	卒業研究等の概要及び大学院において取り組みたい研究の社会的・学術的背景、目的、方法（計画）、見込まれる成果とその意義について、所定の様式に記載し、出願書類とともに提出してください。
			口頭試問	提出された研究計画書（事前課題）に基づき、質問します。 また、大学院への進学理由、修了後の進路希望及び出願した専攻・コースの分野に関する専門知識などについて確認します。
	人間支援科学	C3	研究計画書（事前課題）	卒業研究等の概要及び大学院において取り組みたい研究の社会的・学術的背景、目的、方法（計画）、見込まれる成果とその意義について、所定の様式に記載し、出願書類とともに提出してください。
			口頭試問	提出された研究計画書（事前課題）に基づき、質問します。

（参考：旧選抜方法） 令和5年度(第2次募集)[一般選抜]

（試験科目）

「英語」は、全専攻・コース必須です。

出願時又は別に定める期限までに提出する「TOEIC又はTOEFLのスコア」により評価します。

試験科目	試験内容等	（令和6年度変更点の概要）
専門科目 [情報工学]	形式言語とオートマトン、プログラミング、情報理論、線形代数の4問出題、全問を解答します。	専門科目及び面接を、研究計画書（事前課題）及び口頭試問に変更
面接		
小論文 【事前提出課題】	卒業研究の概要と博士前期（修士）課程での研究計画について記述します。	
口頭試問		
小論文 【事前提出課題】	卒業研究等及び大学院において取り組みたい研究の社会的・学術的背景、目的、方法（計画）、見込まれる成果とその意義について記述します。	
面接		

## ◆令和6年度(第2次募集)選抜方法 【一般選抜】

選抜は、学力検査（英語、専門科目、事前課題）、面接、口頭試問及び出願書類を総合して行います。

### ◀試験科目▶

「英語」は、全専攻・コース必須です。

出願時又は別に定める期限までに提出する「TOEIC又はTOEFLのスコア」により評価します。

専攻	コース（系）	コース記号	試験科目	試験内容等
生命・食料科学	基礎生命科学	D1	口頭試問	卒業研究等の概要と博士前期（修士）課程での研究計画を中心に口頭発表を行い、質疑応答を行います。 また、生物学の基礎的内容に関する質問をすることがあります。
			研究計画書（事前課題）	卒業研究等の概要と予想される結果、博士前期（修士）課程で取り組みたい研究計画及び自身の将来展望について、所定の様式に記載し、出願書類とともに提出してください。
	応用生命・食品科学	D2	口頭試問	提出された研究計画書（事前課題）に基づき、質問します。
			研究計画書（事前課題）	卒業研究等の概要及び博士前期（修士）課程での研究計画について、所定の様式に記載し、出願書類とともに提出してください。
	生物資源科学	D3	口頭試問	提出された研究計画書（事前課題）に基づき、質問します。
			研究計画書（事前課題）	卒業研究等の概要と予想される結果、博士前期（修士）課程で取り組みたい研究計画及び自身の将来展望について、所定の様式に記載し、出願書類とともに提出してください。
	日本酒学	D4	口頭試問	提出された研究計画書（事前課題）に基づき、質問します。
			研究計画書（事前課題）	卒業研究等の概要と予想される結果、博士前期（修士）課程で取り組みたい研究計画、自身の将来展望について記述します。

（参考：旧選抜方法）令和5年度(第2次募集)[一般選抜]

（試験科目）

「英語」は、全専攻・コース必須です。

出願時又は別に定める期限までに提出する「TOEIC又はTOEFLのスコア」により評価します。

試験科目	試験内容等	（令和6年度変更点の概要）
口頭試問	卒業論文の概要と博士前期（修士）課程での研究計画を中心に口頭発表を行います。生物学の基礎的内容に関する質問をすることがあります。	
専門科目	次の14科目の中から、出願時に届け出た1科目を解答します。 生物化学、微生物学、生物有機化学、畜産物利用学、食品化学、栄養制御学、植物栄養学、土壌学、木質化学、食品・農業情報工学、花卉園芸学および植物細胞工学、食品糖質科学、調理科学、醸造健康学	専門科目及び面接を、研究計画書（事前課題）及び口頭試問に変更
面接		
専門科目	志願する教育研究分野の次の科目の中から、出願時に届け出た1科目を解答します。 【食料・資源経済学】農業経済学 【植物資源科学】作物生理学、果樹・蔬菜園芸学、植物病理学、植物育種学、植物遺伝学、植物生産学 【動物資源科学】動物遺伝学、草地生態学、動物解剖生理学、動物生殖学、乳牛生産管理学	専門科目及び面接を、研究計画書（事前課題）及び口頭試問に変更
面接		
小論文【事前提出課題】	卒業研究の概要と予想される結果、博士前期（修士）課程で取り組みたい日本酒学に関する研究計画、自身の将来展望について記述します。	
面接	提出された小論文に基づき、卒業研究等の概要および博士前期（修士）課程での研究内容に関して質問します。	

## ◆令和6年度(第2次募集)選抜方法 【一般選抜】

選抜は、学力検査（英語，専門科目，事前課題），面接，口頭試問及び出願書類を総合して行います。

### ◀試験科目▶

「英語」は、全専攻・コース必須です。

出願時又は別に定める期限までに提出する「TOEIC又はTOEFLのスコア」により評価します。

専攻	コース（系）	コース記号	試験科目	試験内容等
環境科学	自然システム科学	E1	口頭試問	卒業研究等の概要及び大学院での研究計画について口頭発表を行い，研究内容及び研究分野に関する質疑応答を行います。
	流域環境学	E2	口頭試問	卒業研究等の概要及び大学院での研究計画について口頭発表を行い，研究内容及び研究分野に関する質疑応答を行います。口頭発表用資料（事前提出）の詳細については，募集要項又は受験案内に記載し，指示します。
	社会基盤・建築学（社会基盤系）	E3	研究計画書（事前課題）	卒業研究等の概要と予想される結果，博士前期（修士）課程における研究計画及び自身の将来展望について，所定の様式に記載し，出願書類とともに提出してください。
			口頭試問	提出された研究計画書（事前課題）に基づき，質問します。また，社会基盤工学に関する知識を問う場合があります。
	社会基盤・建築学（建築系）	E4	口頭試問	卒業研究等の内容，大学院への進学理由，入学後の研究計画，修了後の進路希望及び建築学分野に関する専門知識などについて確認します。
	地球科学	E5	口頭試問	卒業研究等の学術的背景，目的と意義，計画，成果の見込み，途中経過及び博士前期（修士）課程での研究計画について口頭発表を行い，質疑応答を行います。口頭発表用資料（事前提出）の詳細については，募集要項又は受験案内に記載し，指示します。
	災害環境科学	E6	口頭試問	卒業研究等の学術的背景，目的と意義，成果及び博士前期（修士）課程での研究計画について口頭発表を行い，質疑に应答します。
フィールド科学	E7	口頭試問	卒業研究等の概要及び博士前期（修士）課程での研究計画について口頭発表を行い，研究内容及び研究分野に関する質疑応答を行います。口頭発表用資料（試験当日持参）の詳細については，受験案内に記載し，指示します。	

（参考：旧選抜方法）令和5年度(第2次募集)[一般選抜]

### （試験科目）

「英語」は、全専攻・コース必須です。

出願時又は別に定める期限までに提出する「TOEIC又はTOEFLのスコア」により評価します。

試験科目	試験内容等	（令和6年度変更点の概要）
口頭試問	卒業研究の概要及び大学院での研究計画についてプレゼンテーションを行い，研究内容及び研究分野に関する質疑応答を行います。	
口頭試問	卒業研究の概要及び大学院での研究計画についてプレゼンテーションを行い，研究内容及び研究分野に関する質疑応答を行います。	
専門科目 [社会基盤工学]	応用力学，水理学，地盤工学，コンクリート工学から4問出題し，全問解答します。	専門科目及び面接を，研究計画書（事前課題）及び口頭試問に変更
面接		
口頭試問	卒業論文の内容，大学院での研究計画及びそれらに関連した専門的な事項について口頭試問を行います。	
口頭試問	卒業研究等の学術的背景，目的と意義，計画，成果の見込み，途中経過および博士前期（修士）課程での研究計画について口頭発表を行い，質疑に应答します。	
口頭試問	卒業研究等の学術的背景，目的と意義，成果および博士前期（修士）課程での研究計画について口述し，質疑に应答します。	
口頭試問	卒業研究の概要と博士前期（修士）課程での研究計画についてプレゼンテーションを行い，研究内容及び研究分野に関する質疑応答を行います。	